

空き店舗を活用して高齢者・障がい者・子どものための施設を開設  
多様な人々の交流の場を提供して商店街を活性化

## 特定非営利活動法人 ゆめ空港 赤穂花岳寺通商店街振興組合

機関名	特定非営利活動法人 ゆめ空港 赤穂花岳寺通商店街振興組合		
所在地	兵庫県赤穂市加里屋 2221		
電話番号	0791-42-6103		
地域概要	(1)管内人口	53千人	(2)管内商店街数
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	1商店街	(2)会員数 42商店
商店街の類型	(3)空店舗率	14.3%	(4)大型店空き店舗数
	1.超広域型商店街	2.広域型商店街	3.地域型商店街
	4.近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成15年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（複合施設）

- ・高齢者交流施設、保育園、障がい者工房の設置・運営
- ・イベントの開催

総事業費 14,000千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

赤穂市は、兵庫県の最西南部、岡山県との県境に位置し、気候は温暖で雨量が少ない瀬戸内海型気候に属している。また、「赤穂義士と塩のまち」として知られ、市内には多くの歴史・文化遺産や旧城下町、旧商家の街並みが残っていることから、多くの観光客が訪れる観光のまちとしても有名である。

赤穂市の中心市街地では、モータリゼーションの進展・顧客ニーズの変化に伴ってかつての賑わいを失うとともに経営基盤の脆弱さや後継者不足から閉店に追い込まれる個店が多く、商店街の空洞化が深刻な状況になっている。

本事業は、そのような状況を開拓するために赤穂市中心市街地を形成する商店街の1つである花岳寺通り商店街内の空き店舗を活用して高齢者や障がい者、子供向けの施設を設置、多様な人々の交流の場を提供することで商店街内に賑わいを創出するとともに文化・情報の発信基地としての機能を担うこと目的に実施された。



赤穂市の位置（赤穂市役所HPより）

## 2. 事業内容

NPO法人ゆめ空港が主体となり、商店街内の空き店舗を活用して高齢者や障がい者、児童といった多様な人々が交流できる施設を設置・運営するとともに、商店街と連携したイベントを開催することを通して、商店街内の賑わいの創出を図った。

- ・施設の名称 「ゆめ空港プラザ」
- ・所在地 兵庫県赤穂市加里屋 2221
- ・開設日 平成16年2月29日（日）
- ・概要 1F：「いきいきサロン赤穂」（高齢者交流施設）91m<sup>2</sup>  
「工房そら」（障がい者のための工房）55m<sup>2</sup>  
2F：「つばさ保育園」（幼児・児童の保育室）181m<sup>2</sup>

### （1）実施内容

#### ① 「いきいきサロンあこう」（高齢者交流施設）の開設・運営

高齢者がいつでも気軽に立ち寄り、一日楽しめるサロンを開設・運営した。火曜日と金曜日の週に2回、高齢者向けの昼食会を開催し、延べ44名の参加があった。（平成15年度内は4回開催）。その際に施設までの交通の手段を持たない高齢者のために希望者に限って送迎を実施した。

また、高齢者の趣味を活かしたサークル活動の支援を行い、健康体操サークル、パソコン教室、カラオケ教室などの活動が行われた。

#### ② 「工房そら」（障がい者のための工房）の開設・運営

障がい者の自立支援のため、クッキー製造場、焼き物工房及び販売所を開設・運営した。工房では、赤穂の新しい名産品の開発と障がい者への技術指導を行い、交流サロン内に設置した販売所において商店街の商品や観光物産とともに展示販売した。

また、イベント開催の際には、西播磨地域の障がい者小規模作業所と連携してフリーマーケットに参加、製品の展示販売を行って地域住民や観光客との交流を図った。

#### ③ 「つばさ保育園」の開設・運営

子育て支援と地域交流を目的とした保育園を開設し、平成15年度は幼稚園のアフター保育および商店街利用者のための一時保育のみ実施した。（平成16年4月以降、本格的に託児事業を開始）

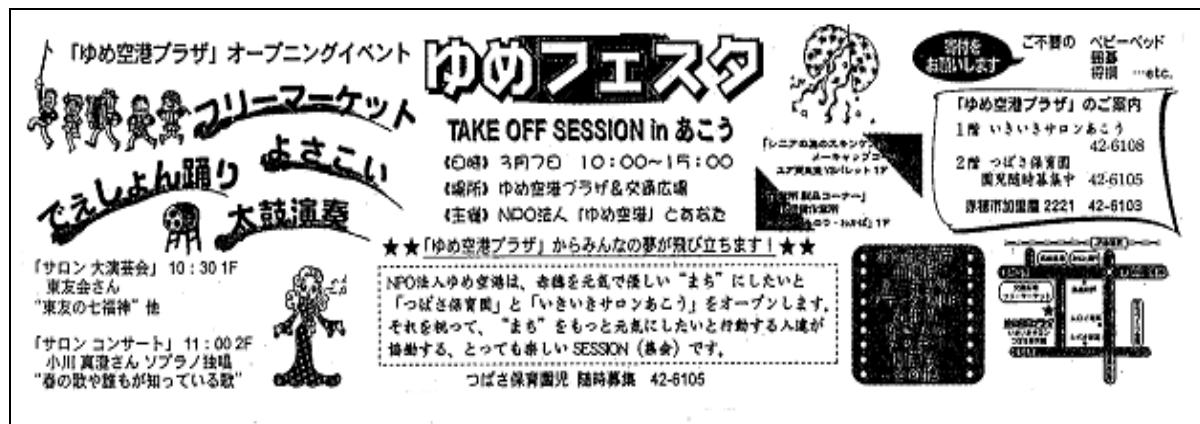


保育園内部の様子

#### ④イベントの開催

- ・イベント名 「ゆめフェスタ」（「ゆめ空港」オープニングイベント）
- ・開催日時 平成 16 年 3 月 7 日（日） 10:00～15:00
- ・場所 「ゆめ空港プラザ」および交通広場
- ・内容 大演芸会、ソプラノコンサート、太鼓演奏、フリーマーケット、よさこい、露店販売等
- ・広報 3 月 6 日付の「赤穂民報」に掲載

当時は、約 1,300 名の多くの人出で賑わった。



「ゆめフェスタ」案内記事

### 【 効 果 】

#### 1. 「いきいきサロンあこう」

昼食会には近隣の高齢者ばかりでなく遠方からも申込みがあり、少しずつではあるが来訪者のエリアが広がるとともに、高齢者の憩いの場として認識・活用され、利用者数も増えつつある。また、高齢者の自主企画による施設運営は、高齢者の共感を得て人集めの面で大いに効果を発揮している。

#### 2. 「工房そら」

高齢者がサロンに訪れた際に陶芸に興味を持つことが多く、障がい者と高齢者が協働して赤穂の名産品の開発に取り組むなど、交流の場としての機能を発揮した。また、製品のクッキーが商店街の名物商品として地域の人々に徐々に知られ、商店街に人を呼び込む要因の 1 つになりつつある。

#### 3. 「つばさ保育園」

一時保育の実施により、商店街を保育士が園児を連れて歩く姿がよく見られるようになり、商店主から喜ばれている。また、店によっては子供向けの商品を店頭に並べるという変化も生れている。

## 【課題・反省点】

1. PR

施設の利用者数が計画を下回っているため、地域住民に広くPRする必要性を感じております。サロンおよび保育園のパンフレットを作成することとした。

## 2. 障がい者のための移送サービス

障がい者の利用を促進するためには交通の手段を確保する必要があるため、市・県と協議を進め、移送サービスを行うための許可申請の準備を進めている。

### 3. 商店街との連携

サロン入口の商店街コーナーに個店のカタログや売出しチラシを設置し、施設からファックスで商店に品物を注文して施設に居ながら買物できるようなシステム作りを進め、商店街の活性化に寄与していく。また、昼食会開催日以外の食事については全て近隣の飲食店から出前を取るようにする方向で検討を進めている。

( 関 連 U R L )

NPO法人ゆめ空港 <http://www2.memenet.or.jp/k-yume/index.htm>